

令和 5 年 6 月 7 日現在

機関番号：32612

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2019～2022

課題番号：19K12509

研究課題名(和文)1970年代から80年代の日本のポピュラー音楽にみるアメリカ文化の影響

研究課題名(英文)Influence of American Culture in Japanese Popular Music, 1970-1989

研究代表者

大和田 俊之(OHWADA, Toshiyuki)

慶應義塾大学・法学部(日吉)・教授

研究者番号：20365539

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 2,100,000円

研究成果の概要(和文): 研究期間中、コロナ禍に見舞われたことで若干の軌道修正を迫られたものの、日本とアメリカの音楽文化を中心にその交流史に関する研究を進めることができた。期間中、5回の国際学会・国際学会招聘講演を含む8回の学会発表を行い、単著一冊、編著一冊、そして分担執筆を含む共著四冊を刊行した。2020年度には審査の上、ハーバード・イェンチン研究所の客員研究員として採用され、パンデミック下にもかかわらず多くのアジアの研究者とオンライン上で交流する機会を持ち、日米あるいはアジアとアメリカの音楽文化史について発表する機会も得た。

研究成果の学術的意義や社会的意義

現在、日本の「シティポップ」と呼ばれる1970年代から80年代にかけての音楽は学術的にもジャーナリスティックにも関心を集めている。それは、日本が最も経済的に成功を収めた1980年代のバブル期に対する興味とも重なるが、その時代を直接的に経験していない人々にも「ノスタルジー」の感覚をもたらしている点は非常に興味深い。今回の研究によって、その時代の日本とアメリカの音楽文化の複雑な交流について、その一端を明らかにできたように思う。

研究成果の概要(英文): There was a slight revision on the research plan due to the COVID-19 pandemic, but I was able to make progress on the research on the musical exchange between Japan and the U.S. I have published one book, edited one book and contributed chapters and articles on four books. I have also delivered eight presentations during the research period including five at international conferences. In 2020, I was appointed as a visiting scholar at Harvard-Yenching Institute, where I had the opportunity to interact online with many researchers in Asia, and to make a presentation on the historical exchange of music culture in Japan and the U.S.

研究分野：ポピュラー音楽研究

キーワード：シティポップ アフロ・アジア

## 1. 研究開始当初の背景

私自身がもともと学生時代に竹内まりやさんを輩出した音楽サークルに所属していたことや、現在大学でアルファレコードの創設者村井邦彦氏が所属していたサークルの顧問をしているなど私的な理由もあるが、2010年代に入って世界的に再評価が進む日本の1970年代から80年代の音楽を、アメリカ文化との関連において分析したいと思いついた。そうした研究を裏付けるさまざまな理論も蓄積されており、こうした概念を用いつつ、アーカイブ調査や関係者へのインタビューなど実証的な研究を組み合わせることで、この時代の日米文化交流史の一端を明らかにできるのではないかと考えた。また世界の日本研究の領域では、とりわけ「オタク文化」を中心に文化研究は進められているが、この時代のシティポップを中心とする音楽文化は、それとは異なる領域のカルチャーとして位置付けられ、その意味で日本文化研究における新しいフィールドを切り開く可能性を秘めているように思う。

## 2. 研究の目的

本研究では、1970年代から80年代の日本のポピュラー音楽において、アメリカ文化がどのように影響していたかについて考察する。具体的には、荒井由実、シュガーベイブ(山下達郎・大貫妙子)、吉田美奈子、竹内まりやなどが活躍するニューミュージックと呼ばれるジャンルの成立や、YMO(細野晴臣、坂本龍一、高橋幸宏)の活動を検証することで、いわゆる「安定成長期」の日本がいかに環太平洋的な影響関係のもとで音楽文化を創出したかを解明する。セルフ・テクノオリエンタリズムやアフロ・アジア的フューチャリズムなどの概念を用い、昨今急速に世界的な評価が進む日本の「シティポップ」の起源を検証し、この時期の日本の音楽文化をグローバルなポピュラー音楽誌に位置付けたい。

## 3. 研究の方法

1970年代から80年代にかけての日本とアメリカの音楽文化の交流を考察する上で、関係者へのインタビューやアーカイブ調査は欠かせない。しかし2020年に始まったコロナ禍により、アーカイブ調査については実現が困難になった。コーネル大学のヒップホップコレクションや、コロンビア大学の日本文化コレクションなど、1970年代から80年代の日米文化交流に関する貴重な資料については、コロナ禍が明け、アーカイブ調査が可能になった時点であらためて訪問する予定である。関係者へのインタビューについては少しずつ進めている。

## 4. 研究成果

1970年代以降の日本のゲーム音楽とアメリカのヒップホップカルチャーとの関連性を分析した章や、現在のアメリカにおけるアジア系の音楽文化の位置付けなどについて論じた章を含む著書『アメリカ音楽の新しい地図』を筑摩書房より刊行した。また、私自身がコーディネートし、

現在の日本とアメリカを中心とする音楽文化のレクチャーシリーズを書籍化した『ポップ・ミュージックを語る 10 の視点』をアルテスパブリッシングより刊行した。2020 年には審査の上、ハーヴァード・イェンチン研究所の客員研究員に採用され、オンラインとはいえ、多くのアジアの研究者と交流を深めただけではなく、1970 年代以降に活動した YMO の中国との関連について分析した発表を行った。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 0件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 大和田俊之	4. 巻 -
2. 論文標題 パンデミックとアメリカ音楽	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 webちくま「アメリカ音楽の新しい地図」	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大和田俊之	4. 巻 -
2. 論文標題 BTSと「エイジアン・インヴェイジョン」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 webちくま「アメリカ音楽の新しい地図」	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Toshiyuki Ohwada (Translated by Alexander Brown)	4. 巻 -
2. 論文標題 City Pop's America	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Japan Foundation Gallery Sep 25, 2020-Jan 23, 2021	6. 最初と最後の頁 8, 12
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計8件（うち招待講演 5件 / うち国際学会 5件）

1. 発表者名 Toshiyuki Ohwada
2. 発表標題 'Kawasaki Drift': Bad Hop, Diversity and Transpacific Locality
3. 学会等名 IASPM XXI 2022 (International Association for the Study of Popular Music) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大和田俊之
2. 発表標題 ジャパニーズ・トミーと立石斧次郎 ミンストレル・ショウのアフロ・アジア
3. 学会等名 日本アメリカ文学会東京支部（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大和田俊之
2. 発表標題 ペアレנטル・アドバイザー - - アメリカ音楽と検閲
3. 学会等名 アメリカ学会第55回年次大会シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Toshiyuki Ohwada
2. 発表標題 Yellow Magic Orchestra and China
3. 学会等名 Society for Ethnomusicology 65th Annual Meeting (Virtual) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Toshiyuki Ohwada
2. 発表標題 Red Book and Video Games: Yellow Magic Orchestra and Afro-Asian Futurism
3. 学会等名 Visiting Scholar Talks, Harvard-Yenching Institute (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大和田俊之
2. 発表標題 民主党・共和党全国大会における音楽利用
3. 学会等名 明治大学大学院情報コミュニケーション研究科主催「速報2020年アメリカ大統領選挙 音楽・スピーチ・メディアから選挙キャンペーンを分析する」(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Toshiyuki Ohwada
2. 発表標題 Evaporating Sound: The Rise of "New Music" in Post-WWII Japan
3. 学会等名 What's Up, A-Pop?: Re-Thinking the Relationships between/among Asian and Asian American Popular Music Cultures (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toshiyuki Ohwada
2. 発表標題 'Plastic Love': City Pop, TV Commercials, and the Rise of 'Urban Music' in Japan
3. 学会等名 International Association for the Study of Popular Music XX Biennial Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計4件

1. 著者名 大和田 俊之	4. 発行年 2021年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 248
3. 書名 アメリカ音楽の新しい地図	

1. 著者名 松本 昇監修、深瀬 有希子、常山 菜穂子、中垣 恒太郎編著	4. 発行年 2021年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 612
3. 書名 ハーレム・ルネサンス ニュー・ニグロ の文化社会批評	

1. 著者名 長谷川町蔵、大和田俊之	4. 発行年 2019年
2. 出版社 アルテスパブリッシング	5. 総ページ数 272
3. 書名 文化系のためのヒップホップ入門3	

1. 著者名 大和田俊之編著	4. 発行年 2020年
2. 出版社 アルテスパブリッシング	5. 総ページ数 344
3. 書名 ポップ・ミュージックを語る10の視点	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------